

福間東中 エリア

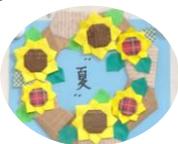
八並区にある笑顔の花咲く 居場所「つぼみの会」

とみ

八並区の民生委員の松本登美さんは、自宅の納屋を改装し、気兼ねなく話せる交流の場を作られました。5年前に組長と一緒にしたことをきっかけに始まった「つぼみの会」は、月に1回集まっておしゃべりや創作活動を楽しんでいます。お昼から集まり、折り紙を折ったり、料理やバレーボールなど色々な話題に花を咲かせたり、作品の感想を言い合ったりしている間に、気がつけば日が暮れているそうです。



写真中央が松本さん



出来上がったカレンダーを家の見えるところに貼って、「いいね〜」と眺めて楽しんでいます

「一人暮らしなのでここに集まって、わあわあ言いながら、物を作るのが楽しい。毎月のつぼみの会を楽しみにしている」「登美さんが優しく話を聞いてくれておしゃべりが楽しい」と、笑顔で話されます。

津屋崎中 エリア

毎年開催の異世代交流会を 今回からお祭りに！



7月24日に勝浦地域郷づくり交流センターで、毎月いきいき健康サロンに参加する高齢者と、交流センター内に併設する学童保育所の子どもたちの交流を目的に夏祭りが開催されました。



好評の射的の様子

従来の交流会は、いきいき健康サロンで普段行う体操などに子どもたちが参加する形でしたが、みんなで一緒にさらに盛り上がる交流会にしたいというスタッフの想いから、今年度は「夏祭り」となりました。射的、輪投げ、パットゴルフなどが準備され、景品をかけて真剣に挑戦していました。ゲームが終わった後に茶話会もあり、高齢の女性は「元気をもらえた！」と満面の笑顔でした。「冬祭り」も行うとスタッフが告げると、子どもたちは「楽しかったー！冬も来ます」と次回も高齢者と交流できることを喜んでいました。

福間中 エリア

公民館を活用しよう 意見交換されたことを実現



6月25日に福間地域郷づくり小地域福祉社会連絡協議会が開催され、昨年度の福間小4年生が提言した内容を参考に意見交換が行われました。これを受けて、「公民館の活用」「世代間交流」にもつながる、夏季の居場所づくり実施に向けて動き出した地域を紹介します。

花見地区

昨年度から涼み処として公民館を開放をしており、管理人常駐の利点を活かし、夏休みの子どもたちが利用しやすいようチラシ作りも工夫しました。また、既存の公民館活動への参加も多世代で利用できるように募集して、広く夏の居場所として地域住民に知らせています。



昭和区



公民館活用に向けて早速会議を実施しました。夏休み中、曜日と時間を決めて夏季の居場所として公民館を開放することになりました。

本町区

公民館開放日を決めて夏季の居場所づくりに取り組みます。